

小名浜玉川町 防災まちづくり活動ニュース

平成 28 年 10 月発行 いわき市 危機管理課

11月20日は防災訓練。訓練を企画しました。

(第8回防災まちづくりワークショップ)

「防災まちづくりワークショップ」は、いわき市内の3地区で地域の助け合いによる防災力の向上に向けて、昨年度から全10回、今年度は2年目として5回行います。

平成28年10月2日(日)午前10時から、玉川地区自治会の役員や防災対策委員会のメンバーはじめ、地区の皆さん方に集まっていただき、「第8回小名浜玉川町地区防災まちづくりワークショップ」を実施しました。今回は、20名(地区住民12名、ほかに市職員4名、コンサルタント4名)が参加しました。

どんな訓練を行うか話し合いました

11月に実施する防災訓練は、地区住民が中心となって企画していきます。

まず、たたき台をもとに、玉川町地区では、どのような訓練が自分たちに必要かを確認しました。また、「単なる参加」ではなく、「訓練の運営役」、「事前の関係者へのお願い」等も必要なことを認識し、役割分担を話し合いました。

訓練は、大雨が降り続けている状況を想定し、訓練開始時に防災広報塔でアナウンスを行い、地区住民に玉川中学校への避難の呼びかけを行います。なお、避難所として指定されている玉川中学校を訓練で使用することに決め、避難した住民どうして安否確認等を行うこととしました。

■「玉川町防災訓練」の構想 (後日チラシで詳細をお知らせします)

- ◎日時 11月20日(日) 午前9時から(午前中で終了)
- ◎場所 玉川中学校 体育館(自宅から「避難」しておいで下さい)
- ◎テーマ 「経験のない大雨が降ってきた! 私たちはどうするか?」
～避難の体験を通じて、いざというときの備えを考えよう～
- ◎内容
 - ・大雨を想定した避難訓練(防災広報塔で避難を呼びかけます)
 - ・玉川中学校での避難所開設訓練

【お知らせ】

- 防災まちづくり活動支援事業では、当初、地区住民が中心となって企画する防災訓練を11月第2週末に実施することで検討してきました。
- 今回のワークショップを通じて、地区住民及び関係者がより多くご協力、ご参加いただける日時を再確認し、実施日を**11月20日(日)**に変更しました。
- 引き続き、地区の皆さんのご協力と当日のご参加をお願いします。

★ 「玉川町防災訓練の企画」（第7回ワークショップ）の内容 ★

○「玉川町防災訓練」の内容を検討しました。

- 経験のない大雨が降り続き、避難勧告が発表された場面を体験します。

◎そういう場面では、連絡網を用いて、区長から組長、班長へ電話で情報伝達した方が良い。今回取り組もう。

◎防災広報塔で避難を呼びかけよう。アナウンスのせりふは、実際の災害の時にも使えるぞ！

- 玉川中学校への避難を行います。

◎臨場感を持たせるために、冠水場所を設定して、看板などを置き、住民に迂回してもらおう。

◎いざというときの安否確認は近所同士でしかできない。体育館に受付を作って、区ごとに参加者をまとめてもらおう。

- 玉川中学校での避難生活を体験します。

◎住民どうして助け合う訓練なので、単なる「見学」ではダメだ。防災倉庫の物資を運ぶ場合は、参加者で協力してもらおう。

◎自治会で炊き出しができないだろうか？米や釜があるので検討しよう。

○話し合いを受け、関係者への協力を求めることとしました。

- 今回の話し合いを受けて、自治会の各委員会や消防団等への要請が必要なことを確認し、引き続き調整を行うこととしました。詳細を決定し、後日チラシでお知らせします。



防災訓練にご参加下さい！

防災まちづくりワークショップの予定

次回【11月20日】は、午前9時から防災訓練を実施します。いざというときは、自分たちで身を守らねばなりません。ぜひご参加下さい。

【お問い合わせは下の連絡先まで】

回数	時期	取り組み
第9回	11月20日(日) 午前9時から(午前中)	○「玉川町防災訓練」
第10回	1月 2時間程度(予定)	○地区防災計画案の作成 ○今後の活動計画の検討

◆防災まちづくり活動支援事業に関するお問合せは



いわき市総合政策部危機管理課：植野(うえの)、藁谷(わらがい)
(電話 22-7551(直通))